

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」

放課後子供教室の取組事例

「紫波町子ども教室事業の成果と課題」(岩手県紫波町)

取組の概要や経緯

○共働き世帯の増加などにより、子どもが放課後や休日、長期休暇中に安心して過ごすことができる場所が少ないことが課題となっていた。そこで、町内3地区において、放課後学習、体験活動を通して安全・安心に過ごすことができる居場所を提供している。



内容

○赤石地区の子ども教室(赤石こどもクラブ)は町直営、日詰・古館地区の日詰子ども教室・古館子ども教室の運営は、地元NPO法人に事業委託し、地域や学校の実情に合わせた事業を展開している。
○各教室に配置されたコーディネーターによる地域人材の発掘や地域団体との協力により、様々な体験学習活動が展開されている。地域の特色として日詰・古館両子ども教室では、地元産の野菜を使った料理教室を行っている。また、赤石こどもクラブでは、専門的な知識を持った地域人材から指導を受け、子どもたちが栽培した大豆から味噌作りを行う講座など、地域の特色を活かした多様な活動を続けている。

ポイント

○教育委員会や、コーディネーター、子ども教室事業に関わる地域の方との情報交換会を年に2回実施し、子ども達の様子や事業内容、教室の運営等について協議しより良い教室の在り方について全体で共有している。
○コーディネーターが、地域人材の発掘やつながりを意識し、積極的に取り組んでいる。

成果

開催回数・参加人数は昨年をやや下回っているが、参加児童に対して行ったアンケート結果は10月末時点で、以下の通りとなった。

- ・「地域の大人と話すのが好きになった」 80%、
- ・「地域が好きになった」 89%

いずれの結果も地域とのつながりの構築が見られるものとなった。

平成29年5月～10月 放課後子供教室活動実績
※()は昨年度の実績

	人数(単位:人)		回数(単位:回)	
古館	237	(289) ↓52人減	14	(14)
日詰	401	(356) ↑45人増	25	(24)
赤石	320	(322) ↓2人減	18	(18)
合同(古館・日詰) /出前	74	(114) ↓40人減	4	(6)
計	1032	(1081) ↓49人減	61	(62)

今後の方向性

○事業に参加する地域住民やコーディネーターが事業の目的や課題を共有し、改善点をフィードバックできる仕組みを構築する。
○地域全体で子ども達を育て、見守るという観点からも、他団体との連携・協力体制を更に築くよう努めていく。